

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 I

問 1

図 1 は炉であり、図 2 はかまどである。かまどは米食の普及に対応した施設で、熱効率が良く、米を煮て食べる段階から蒸して食べることが一般化した。

問 2

ア 掘立柱                      イ 倉庫

問 3

重量のある瓦葺の建物に用いられた建築法で、柱の沈下を防ぐため、版築によってつくられた基壇の上に礎石を設置し、その上に柱を立てた。

問 4

大極殿は朝堂院の正殿であり、天皇が出御して、元日朝賀の儀式などの国家儀礼を執り行った。

問 5

鑑真は僧尼の規範である戒律を日本に伝え、東大寺に戒壇を設けた。最澄は南都から独立した教団の創建を目指し、大乘戒壇の設立を朝廷に求めた。

問 6

菅原道真。漢詩文に優れ、『類聚国史』編纂など政治・文化面で多彩な業績を残した。事件後死去すると怨霊とされ、北野天満宮に祀られた。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題Ⅱ

問 1

(1)

「仰せ」は鎌倉幕府の征夷大將軍によるものである。また、長井泰重は備前・備後両国の守護であり、軍事・警察権を掌握し、御家人を管理していた。

(2)

史料では二毛作のことが記されており、幕府は備前と備後両国の在地領主が農民から米の裏作の麦に対して徴税していることを禁止するように命じた。

問 2

(1) ア 熊野

熊野三山が存在しており、院政期には院や貴族が盛んに参詣をおこなった。

(2)

㊤ 荒野の土地開発を主題とし、東部に開発地、西部に未開の地が描かれている。

㊦ 中世には近世のような統一政権はなく、まだ土地開発が進んでおらず、河川管理や用水確保に対する積極的な取り組みが行われていなかったから。

㊧ 近隣の村との水争いに際しての証拠書類として作成された。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題Ⅲ

問 1

ア 定免                      イ 検見

定免法は豊凶に関係なく過去数年間の年貢高を基準として年貢率を定率で固定したが、検見法は毎年の作柄をみて年貢率を決定した。

問 2

5

問 3

領内での綿花やたばこなどの栽培を奨励し、これら商品作物を専売制にして刈谷藩で販売を独占し、商業利潤をえることで藩財政の再建をはかる。

問 4

多数の餓死者がでた寛永の飢饉を機に、大名は百姓の小経営を安定させることで年貢・諸役を確実に徴収する本百姓体制の維持に重点を置くようになった。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題Ⅳ

問 1

横浜・神戸は、幕末・維新时期に開港場として居留地がおかれたため、外国との貿易や居住する外国人から、欧米の近代的な文物や風俗が流入したから。

問 2

野蛮

政府は西洋文明の摂取を図り民衆生活の西洋化を進めて近代国家の形成をめざしていたため、欧米人からみて野蛮とうけとられる習慣や風俗を禁止した。

問 3

田植えや稲刈りなどの農作業や、村の祭礼行事は旧暦によって行われたため。

問 4

G H Q は民主化推進のため G H Q 批判を禁止しており、アメリカの原爆投下による長崎の惨状が明らかになると G H Q への批判が高まると考えたから。

問 5

中曽根康弘。行財政改革などを推進し、日本電信電話公社・日本専売公社・日本国有鉄道の 3 公社の民営化を行った。

問 6

国民の心身鍛錬のために体育を奨励し、健全な娯楽を推奨し情操教育に役立たせるなど、戦争に協力する国民の養成に利用された。